



フェンスに装備された光テンションセンサと断線センサ。侵入を感じし、ドームカメラが連動して該当箇所の映像を守衛室に送る

能代ロケット実験場

NOSHIRO ROCKET TESTING CENTER

物理監視と映像監視の相乗効果で 高度なセキュリティを実現

秋田県の日本海に面した能代ロケット実験場は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の附属施設の一つ。1962年に開設されて以降、新型ロケットエンジン開発や大型ロケット開発計画の開始に伴い、施設・設備の拡充が行われてきた。日本の宇宙推進エンジンの研究開発において重要な位置を占める研究実験施設である。「JAXAでは国内施設のセキュリティ整備をガイドラインに沿って順次行っており、今回の工事もこれに沿ったもの。それぞれの施設に最適なシステムを検討し、導入を進めている」と述べるのは、

宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 主査の杉野伸也氏。「当実験場は寒冷地で海に面しており、塩害や風害などへの耐候性に優れたセキュリティシステムが必要だった。今回導入したフェンス乗り越えを感じする光テンションセンサは、感度が調整可能。海から吹く風に運ばれたビニール片などを誤認するなど、これまであったトラブルが少なくなり、新設した沿岸監視用レーザセンサとともに物理監視のレベルが向上した。これら、外周部を見守る物理監視と高解像度映像監視の連動で、高度なセキュリティが実現できた。物理監視の誤報が減り、映像も鮮明になり、満足している」と語る。



能代ロケット実験場

■セキュリティ設備工事

所在地／秋田県能代市浅内
 所主／宇宙航空研究開発機構
 設計・施工／パナソニックESエンジニアリング株式会社
 竣工／2015年3月



沿岸部を監視するレーザーセンサとドーム型監視カメラ。ドームカメラには親水コーティングが施されている



センサ機器の制御サーバが納められたラック



センサ情報と映像が連動した監視画面



展示室天井に設置された全方位カメラ

主な設備

- 統合型セキュリティシステム eX-SG
- 光テンション・断線センサ
- 赤外線センサ
- マグネットセンサ
- レーザセンサ
- 屋外ハウジング一体型ドームカメラ
- 全方位カメラ
- 画像記録装置
- 機器制御サーバ